

## 西東京市子どもワークショップ企画案

### 1 開催概要

#### (1) 趣旨

「西東京市子育て・子育てワイワイプラン」（令和7年度から令和16年度まで）に掲載する取組に子どもの意見を反映するため、子ども自身が子ども施策について考え、意見を表明する機会としてワークショップを開催する。

#### (2) 企画協力

武蔵野大学アントレプレナーシップ学部高松宏弥ゼミ学生

### 2 開催日時・会場

#### (1) 開催日時

令和6年7月14日（日）、8月3日（土）、8月4日（日） ※3回講座  
各日午前10時から正午まで（予定）

#### (2) 会場

武蔵野大学武蔵野キャンパス

### 3 対象者

- ・市内在住の小学生（4年生以上）20人：ワークショップA
- ・市内在住の中学生15人、高校生世代（高校生と18歳までの子ども）10人：ワークショップB

### 4 講師等

- ・武蔵野大学フィールドスタディ発展履修学生（FS学生）
- ・西東京市子どもの権利擁護委員、子どもの権利擁護相談・調査専門員

### 5 広報・周知

- ・広報西東京5月15日号
- ・ホームページ、フェイスブック、ライン、X（旧ツイッター）（第1回子ども子育て審議会以降、順次公開）
- ・広報掲示板（市内71か所）にポスターの掲示（5月21日から6月20日まで）
- ・児童館・児童センター、公民館、図書館、コミュニティセンター へのちらし配布
- ・市内の公立中学校、都立高校、私立高校 へのポスターの配布

## 6 意見表明の方法 (3回講座)

### (1) 事前学習 〈ワークショップ Day1:7月14日(日)〉 ※全体進行:大学生

- ・ アイスブレイク (担当:大学生) [約30分]  
ワークショップ当日のグループ分けを行い、自己紹介等の関係構築を行う。
- ・ 子育て・子育てワイワイプランや西東京市の取組を知るためのインプットを行い、当日の議論の活発化を図る。 [約1~1.5時間程度]  
市職員や西東京市子どもの権利擁護委員などが「子どもの人権」「子どもにやさしいまち」「子育て・子育てワイワイプランについて」等のテーマや身近な話題を挙げて、市の取り組みに関する参加型の講座を行う。  
また、子どもたちにクイズやロールプレイ、ワークシートの記入やポストイットや模造紙を使った話し合い、話し合いの内容発表などで理解を深めてもらう。
- ・ ワorkshop Bでは、当日のテーマも決定する。

#### ◆ワークシート◆

- ①メモガイドの作成 (当日のインプット講義の理解度を促進するため)  
例: 講義内容の穴埋め
  - ②ワークショップに向けた事前のブレインストーミング  
例: あなたの思いついた改善点はありますか?  
分からなかったこと、疑問に思ったことはありますか?
  - ③自己紹介の質問欄  
例: 放課後にはどんな遊びをしていますか?、児童館を利用したことはありますか?  
西東京市の好きなおところはなんですか? など
- ※各項目は、武蔵野大学フィールドスタディーズの履修学生が、6月中旬までに作成  
※このワークシートを基に、似たテーマの子どもがワークショップのグループを構成する

### (2) ワorkshop 〈ワークショップ Day2:8月3日(土)〉

#### ① ワorkshop A

- テーマ「あなたの放課後や休日の居場所を教えてください」  
(\*子どもの居場所についてとするか、テーマは要検討)
- ・ 小学生5人×4グループでワークショップを行う。

#### ② ワorkshop B

- 「子育て・子育てワイワイプランに意見をください」  
テーマ (事前学習の際に、グループで3つの中からテーマを選ぶ)
- ▶ 子どもが、子どもの権利を実現するために必要な支援
  - ▶ 子どもが発想を活かし、自ら意見を表明する場や参加・参画する機会
  - ▶ 自分らしく過ごすことができる居場所や年齢に応じた居場所の確保に必要な施策や課題
- ・ 中学生3人と高校生2人×5グループでワークショップを行う。

\*①・②に共通して、各グループにF S学生をファシリテーター兼議事録担当として配置する。また、各ワークショップに、西東京市子どもの権利擁護委員、子どもの権利擁護相談・調査専門員など3人程度がグループの様子を見て回る。

#### ワークショップA・Bの4ステップ

ステップ1 「こんな事あったな」 (30分)	事前学習を通じて意識して生活をし、気づいた出来事を話す。 (*この部分は事前学習で行う可能性あり)
ステップ2 「こうだったらいいな」 (20分)	“こんな事あったな” で出た内容を理想化して言語化する。
ステップ3 「どうすれば」 (30分)	“こうだったらいいな” をどのようにすれば実現できるかを議論する。
ステップ4 「こうしてほしい」 (25分)	“どうすれば” の中で出てきたことを意見化して、宣言として各グループで一枚のポスター(フォーマット)にまとめる

#### (3)宣言(ワークショップA、Bの発表)〈ワークショップ Day3:8月4日(日)〉

- ・ワークショップA・Bの参加者(保護者の観覧可)、F S学生、西東京市子どもの権利擁護委員、子どもの権利擁護相談・調査専門員、市職員等の合計80人(想定)が参加する。
- ・合計9グループから各5分程度で発表する。(発表45分・入替等 合計1時間)
- ・発表の後、市から宣言の受理を表す参加証明書を渡すセレモニーなどを行う。(30分)

#### ワークショップ Day3の振り返り(ワークショップ Day3終了後、1時間程度)

- ・F S学生、西東京市子どもの権利擁護委員、子どもの権利擁護相談・調査専門員などが参加する。
- ・発表全体の感想を共有したり、どのような理念を計画に反映するかを議論する。

#### (4)講座のその後

- ・施策・事業への意見の反映(反映できなかった内容を含む)を参加者にフィードバックする。(9月上旬)
- ・参加者はフィードバックを読んだ感想やコメントを提出する(9月中旬～下旬)

## 7 当日までの準備

- ・ワークショップA、Bの詳細な内容検討（子育て支援課、西東京市子ども子育て審議会計画専門部会、武蔵野大学学生）
- ・参加者募集ちらし、応募フォームの作成（武蔵野大学学生）
- ・ワークショップを円滑かつ最終的なアウトプットへ誘導する日の参加者向けワークシート作成（武蔵野大学学生）
- ・宣言ポスターのフォーマット作成（武蔵野大学学生）
- ・大学を会場にした子ども向け企画など参加のモチベーションを上げるような企画（武蔵野大学学生中心に）

## 8 スケジュール

時期	内容
4月16日	計画専門部会で審議（企画詳細、募集案内・告知ちらし）
4月25日	計画専門部会で審議（企画詳細、募集案内・告知ちらし）
5月16日	子ども子育て審議会に報告
5月下旬～6月上旬	参加者募集
6月～7月	計画専門部会、大学生とのワーキンググループ
7月14日	事前学習（Day1）実施
8月3日	ワークショップ（Day2）開催
8月4日	宣言／発表、振り返り（Day3）開催
9月上旬	施策・事業への反映に係るフィードバック
9月中旬～下旬	フィードバックに係る感想